

中小企業景況調査報告

(第3四半期)

平成30年10月～12月期実績

平成31年1月～3月期予測

平成30年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

1.調査要領

(1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、平成29年度版統計ふくやまによると1,315社であり、内訳は建設業162件 製造業276件、小売・サービス業314件となっている。

(2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

(3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

(4) 調査機関

平成30年10月～12月期実施

(5) 調査時点

平成30年11月15日

(6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50 - 20 = (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）*DI値のみ

業種	今期の状況 (平成30年10月～12月)		次期の見通し (平成31年1月～3月)
	前年同期 (平成29年10月～12月)に比べて	前期 (平成30年7月～9月)に比べて	次期 (平成30年10月～12月)に比べて 来期の見通し
製造業	33.3	33.3	±0
建設業	50.0	±0	±0
小売業	±0	±0	±0
サービス業	▲20.0	▲20.0	▲20.0

製造業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数3社

項目	状況	今期の状況 (平成30年10月～12月)		次期の見通し (平成31年1月～3月)
		前年同期 (平成29年10月～12月)に比べて	前期 (平成30年7月～9月)に比べて	次期 (平成30年10月～12月)に比べて来 期の見通し
業況	好転	1	1	0
	不変	2	2	3
	悪化	0	0	0
	D・I	33.3	33.3	±0
売上 (加工)額	増加	2	1	/
	不変	1	2	
	減少	0	0	
	D・I	66.7	33.3	
売上 (加工)単価	増加	2	0	/
	不変	1	3	
	減少	0	0	
	D・I	66.7	±0	
売上 (加工)数量	増加	2	1	/
	不変	1	2	
	減少	0	0	
	D・I	66.7	33.3	
資金繰り	好転	1	2	/
	不変	2	1	
	悪化	0	0	
	D・I	33.3	66.7	
原材料 仕入単価	上昇	3	/	/
	不変	0		
	低下	0		
	D・I	100		
採算 (経常利益)	好転	1	/	/
	不変	2		
	悪化	0		
	D・I	33.3		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

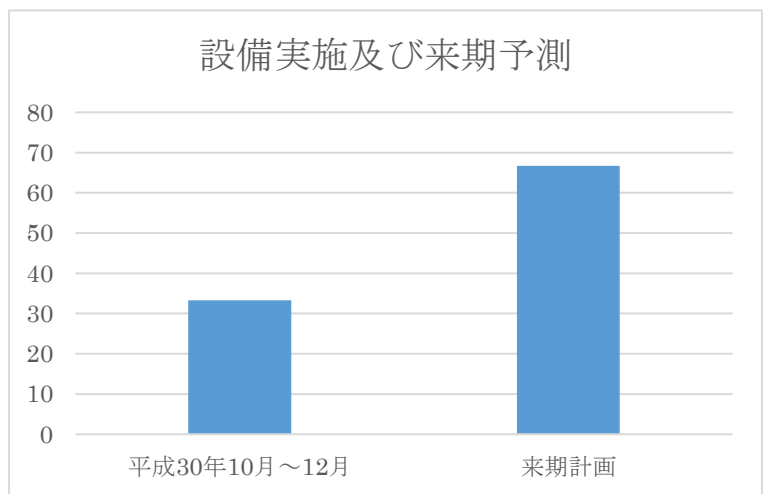
【今期実施内容】

回答事業所の内、33.3%実施。

【来期計画内容】

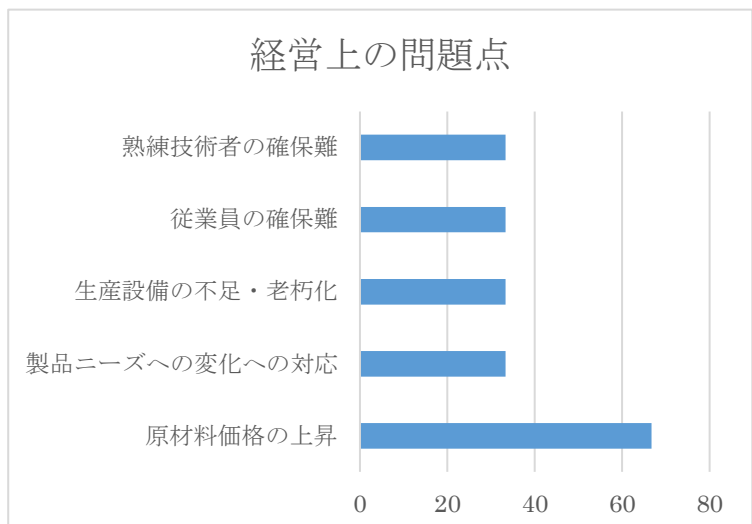
回答事業所の内、来期66.7%計画。

●生産設備=100%



○今期の経営上の問題点

今回は、「原材料価格の上昇」で続いて「熟練技術者の確保難」「従業員の確保難」「人件費の増加」と人にまつわる課題が多い。「製品ニーズへの変化の対応」と伴い、「生産設備の不足・老朽化」等、取引先より求められる要求が多様化し、現有設備だけでの対応が厳しい状況にある。



建設業

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 2 社

項目	状況	今期の状況 (平成30年10月～12月)		次期の見通し (平成31年1月～3月)
		前年同期 (平成29年10月～12月)に比べて	前期 (平成30年7月～9月)に比べて	次期 (平成30年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	1	0	0
	不変	1	2	2
	悪化	0	0	0
	D・I	50.0	±0	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	1	1	
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	50.0	50.0	
受注 (新規契約工事)額	増加	1		
	不変	1		
	減少	0		
	D・I	50.0		
材料仕入単価	増加	2		
	不変	0		
	減少	0		
	D・I	100.0		
資金繰り	好転	1	1	
	不変	1	1	
	悪化	0	0	
	D・I	50.0	50.0	
採算 (経常利益)	好転	1		
	不変	1		
	悪化	0		
	D・I	50.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

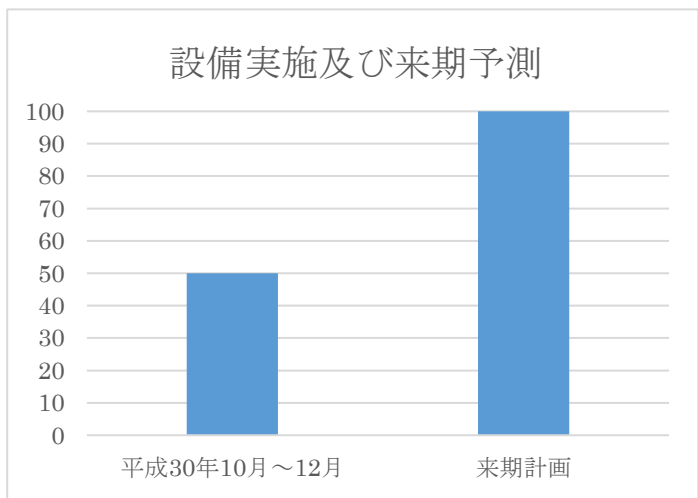
【今期実施内容】

回答事業所の内、33.3%実施。

【来期計画内容】

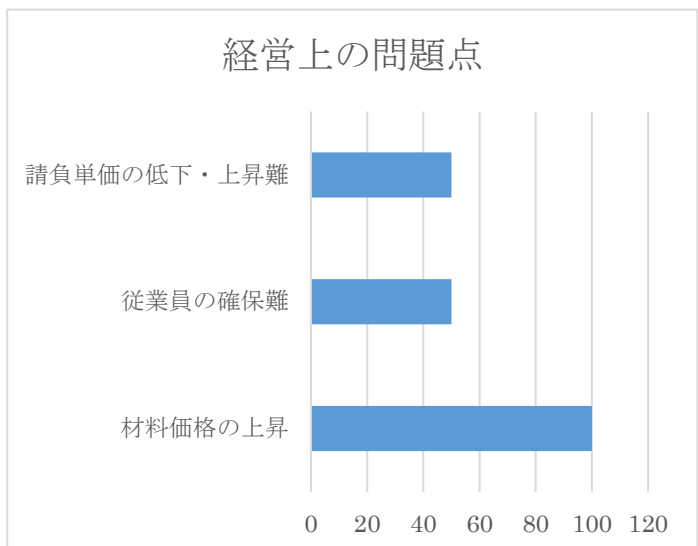
回答事業所の内、来期 50.0%計画。

- 建設機械=40.0% ●車両・運搬具=20.0%
- 付帯設備=20.0% ●OA 機器=20.0%



○今期の経営上の問題点

今回も「材料価格の上昇」が上位に上がり、原材料価格が上昇傾向にある。また、「請負単価の低下・上昇難」や「従業員の確保難」など外的内的要因が今後懸念される。



小売業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数5社

項目	状況	今期の状況 (平成30年10月～12月)		次期の見通し (平成31年1月～3月)
		前年同期 (平成29年10月～12月)に比べて	前期 (平成30年7月～9月)に比べて	次期 (平成30年10月～12月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	0	0	/
	不変	5	4	
	減少	0	1	
	D・I	±0	▲20.0	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	4	4	
	低下	1	1	
	D・I	▲20.0	▲20.0	
商品仕入単価	上昇	2	/	/
	不変	3		
	低下	0		
	D・I	40.0		
商品仕入額	増加	2	/	/
	不変	3		
	減少	0		
	D・I	40.0		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	5		
	減少	1		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	4	
	悪化	0	1	
	D・I	±0	▲20.0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施無し。

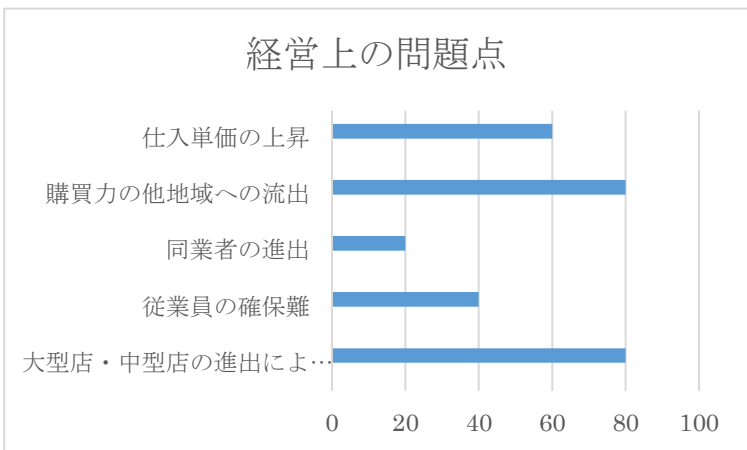
【来期計画内容】

回答事業所の内、来期計画無し。



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「大型店・中型店の進出による競争の激化」「購買力の他地域への流出」などの意見を多くいただいた。また、「仕入価格の上昇」を懸念される声も多かったです。



サービス業

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し） 回答事業者数 5 社

状況	今期の状況 (平成30年10月～12月)		次期の見通し (平成31年1月～3月)
	前年同期 (平成29年10月～12月)に比べて	前期 (平成30年7月～9月)に比べて	次期 (平成30年10月～12月)に比べて 来期の見通し
好転	0	0	0
不変	4	4	4
悪化	1	1	1
D・I	▲20.0	▲20.0	▲20.0
増加	1	0	
不変	3	4	
減少	1	1	
D・I	±0	▲20.0	
上昇	1	0	
不変	3	5	
低下	1	0	
D・I	±0	±0	
上昇	2		
不変	3		
低下	0		
D・I	40.0		
好転	0	0	
不変	5	5	
悪化	0	0	
D・I	±0	±0	
好転	0		
不変	4		
悪化	1		
D・I	▲20.0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

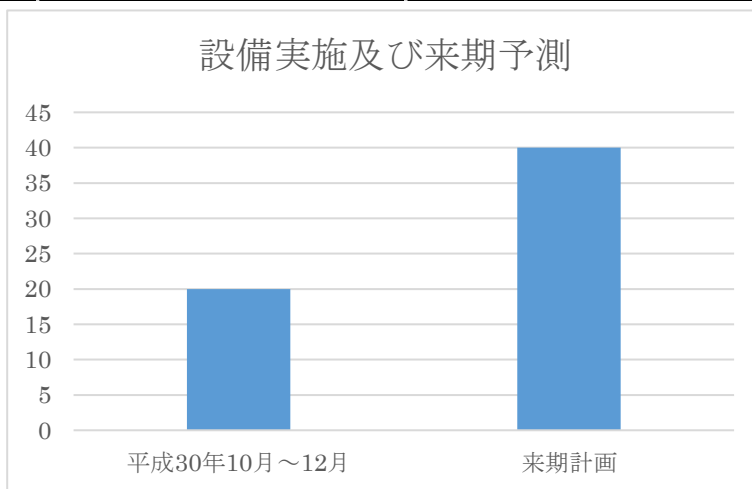
【今期実施内容】

回答事業所の内、20%実施。

【来期計画内容】

回答事業所の内、来期 40%計画。

- OA 機器＝25% ●付帯設備＝25%
- 車両・運搬具＝25%
- 福祉厚生施設＝25%



○今期の経営上の問題点

今回の調査で、「新規参入業者の増加」がもっとも多く、管内において同業他社が増加傾向にあります。また、従業員等の確保や材料等の仕入の上昇など様々な値上がり利益を圧迫している。

